

平成 28 年度 事業計画

I. 基本方針

わが国経済は、デフレ脱却、経済再生に向けた動きを続けており、これを本格的な景気回復、持続的な成長に繋げるとともに、各地域・各産業に広げていく必要がある。加えて、わが国は、少子高齢・人口減少社会への対応、地域の創生、財政の早期健全化、防災・減災対策の強化、社会資本の老朽化への対応等、多くの課題を抱えており、適切な対応を図っていかねばならない。

こうした状況の下、中部圏は、「ものづくり」の中心地として、国際競争力を高めるとともに、各地域が保有する資源を活かし地域の創生に取り組み、わが国の成長をけん引していく必要がある。そのためには、企業の積極的な事業展開やイノベーションを推し進めるとともに、地域に根差した産業の生産性を向上していかねばならない。また、平成 39 年に開業予定のリニア中央新幹線の効果を最大限に活かす地域づくりを推進していくとともに、各地でまちのコンパクト化とネットワーク化を進めていかねばならない。加えて、産業を活性化させる人材や地域を支える人材の育成・活用も重要である。

以上を踏まえ、中経連は、平成 28 年度も「ものづくり」、「まちづくり」、「ひとづくり」を活動の軸に据えるとともに、国際競争力の強化と中部圏の創生を目指し、以下を重要テーマとして事業活動を展開する。

- 事業全般 : 中部圏におけるグローバル・ローカル経済双方の活性化
- ものづくり : 次世代を担う産業の振興、中堅・中小企業の活性化
- まちづくり : 地域活性化・地域連携の強化、メガリージョンを見据えたまちづくりの推進
- ひとづくり : 産業・地域を支える人材の育成、多様な人材の活躍推進

加えて、関係機関と連携して、「伊勢志摩サミット」を支援するとともに、ものづくりや観光等の情報を積極的に発信し、地域の認知度向上・活性化につなげていく。

活動にあたっては、会員、自治体等の課題や要望を幅広く調査・研究し、国等に提言・要請を実施するとともに、地域間、産学官の連携を積極的に推進し、中部圏の明るい未来の実現に向けて全力で行動する。

以上

Ⅱ. 主要事業活動

項目	目標	活動内容
1. 社会経済制度の整備 等		
○調査・研究、提言、要請 等	<p>○中部圏やわが国の活性化に資する社会・経済制度の整備</p> <p>○魅力と活力あふれる中部の実現</p>	<p>○経済政策、社会制度、経済法規等に関する調査・研究、提言、要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新中部圏の創生」（平成28年2月策定）の要請 ・経済政策、法改正、規制緩和等に関する提言、要請、講演会の開催 <p style="text-align: right;">（経済委員会）</p> <p>○産業育成・振興に資する税制改正や補助制度等に関する調査・研究、提言、要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成29年度税制改正要望」の策定、要請 ・「国土強靱化への企業の寄与を促進する税制の整備」の要請 <p style="text-align: right;">（税制委員会）</p> <p>○中部圏をけん引するリーディングプロジェクトの検討 <新規></p> <p style="text-align: right;">（企画委員会）</p>
2. 「ものづくり」の推進		
①次世代を担う産業の振興	<p><次世代自動車産業></p> <p>○効率的なモビリティ社会づくりの推進</p> <p><航空宇宙産業></p> <p>○航空機製造における生産体制の整備、日本製部品の採用拡大</p> <p><ヘルスケア産業></p> <p>○ヘルスケア産業の振興</p> <p><環境・リサイクル産業></p> <p>○環境・リサイクル産業の振興</p>	<p>○「地域別の移動特性に応じた効率的なモビリティ社会のあり方について」（平成26年10月策定）の実現に向けた活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験の計画立案、平成29年の実証実験着手に向けた実施体制の立ち上げ <p style="text-align: right;">（産業委員会 次世代自動車部会）</p> <p>○自動運転の実用化に関する地域別ニーズの調査・研究</p> <p>○「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区制度」の延長・充実に向けた活動</p> <p>○航空機産業の振興に関する調査・研究、要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅・中小企業の連携等による多工程一括受注体制拡大に向けた調査・研究、要請 ・国産のシステム（装備品）やMRO用部品の採用拡大に向けた調査・研究 ・公的機関による航空機組立技能職研修の拡充（艀装・電装技能職等）と技能認定制度の制定に向けた要請 <p style="text-align: right;">（航空宇宙特別委員会）</p> <p>○介護分野等へのロボット導入の推進、ICTの利活用による高齢者支援等に関する調査・研究</p> <p style="text-align: right;">（産業委員会 ヘルスケア部会）</p> <p>○「新ヘルスケア産業フォーラム」（事務局：名古屋大学、中経連等）の推進</p> <p>○循環型社会を実現するリサイクル産業に関する調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネル・炭素繊維等、新素材のリサイクル推進に関する調査・研究 <p style="text-align: right;">（資源・環境委員会）</p> <p>○「水のいのちとものづくり中部フォーラム」（事務局：水資源機構、中経連）の推進</p>

項目	目標	活動内容
①次世代を担う産業の振興（続き）	<観光産業> ○広域連携による観光産業の振興	○訪日外国人の受入環境整備に向けた活動 ・観光情報アプリケーション（無料W i - F i 認証の一元化、観光情報プラットフォーム）の導入に向けた活動等 （観光委員会） ○「昇龍道プロジェクト推進協議会」への協力 ・認知度向上に向けたP R活動（海外ミッション、海外・国内でのP R等） ・6つの重点広域観光周遊ルートの普及活動、新たなルートの形成 ・訪日外国人の消費拡大策（免税カウンター、手ぶら観光、ショッピングガイド作成等） ・関係団体との連携による外航クルーズ船の寄港誘致
	<農業> ○農商工連携による農業ビジネスの振興	○農業ビジネスの活性化に関する調査・研究 ・事業環境の変化（「T P P」、「地方創生」等）を踏まえた販路拡大に向けた課題に関する調査・研究 （農商工連携特別委員会） ○農林水産物・食品の海外販路拡大に向けた活動 ・昇龍道（中部・北陸）物産観光展の開催
②中堅・中小企業の振興	○中堅・中小企業の振興、地域に根差した産業の振興	○中堅・中小企業の企業力強化に向けた活動 ・「L i n k e r s」（コーディネータを介したマッチングのしくみ）の普及拡大の支援 ・中堅・中小企業の成長戦略に関する調査・研究 ・航空宇宙産業における中堅・中小企業の連携等による多工程一括受注体制拡大に向けた調査・研究、要請 【再掲】 ○「中部コーディネータ研究フォーラム」の推進 ・コーディネータの企業支援力、ネットワークの更なる強化の支援 ○国際関係機関等と連携した企業の海外展開支援
③研究開発・イノベーションの強化	○産学連携による研究開発・イノベーションの強化	○イノベーションにつながる異分野融合に関する調査・研究 （産学連携懇談会） ○研究開発・イノベーションの強化に資する講演会・視察会の開催 （産学連携懇談会） ○ロボット、I C T等の産業横断的技術の活用促進に関する調査・研究
④エネルギーの安定供給と地球温暖化の防止	○安定的かつ経済的なエネルギー供給の実現と地球温暖化の防止	○エネルギー政策、地球温暖化対策に関する調査・研究、提言、要請 （資源・環境委員会）

項目	目標	活動内容
3. 「まちづくり」の推進		
①リニア中央新幹線を活かす魅力あるまちづくり	○リニアを活かすまちづくりの推進	○メガリージョンを見据えた、名古屋駅、リニア岐阜県駅・長野県駅（中津川・飯田）を活かした地域づくりへの支援
②まちのコンパクト化の推進	○少子高齢・人口減少社会を見据えたまちづくりの推進	○まちのコンパクト化の推進に関する調査・研究 ・国内外のコンパクトシティの事例、推進策等の調査・研究 (社会基盤委員会 まちづくり部会) ○まちづくり、地方分権、地域の創生等をテーマとした講演会の開催 <新規> (社会基盤委員会 まちづくり部会、地方分権特別委員会)
③社会基盤の整備・維持と大規模災害への備え	○利便性・多重性の向上に向けた社会基盤の整備・維持 ○中部国際空港（セントレア）の利用拡大と二本目滑走路の早期整備	○「中部圏交通ネットワークビジョン」（平成28年春策定予定）の実現に向けた要請 (社会基盤委員会) ○自治体等と連携した道路・港湾等の整備に向けた要請 (社会基盤委員会) ○社会基盤整備に資する講演会・視察会の開催 (社会基盤委員会) ○セントレア二本目滑走路の実現に向けた機運醸成、要請 (中部国際空港特別委員会) ○「中部国際空港利用促進協議会」（事務局：名古屋商工会議所、中経連）の推進
	○地域や企業における防災・減災対策の推進	○企業の防災・減災対策の推進に向けた活動 ・サプライチェーン全体を対象としたBCPの策定促進に向けた活動 ・「企業防災連絡会」の開催 ・産学官連携による防災・減災対策の推進 (防災特別委員会) ○「国土強靱化への企業の寄与を促進する税制の整備」の要請 【再掲】 (税制委員会)
④地域連携の強化、地方分権の推進等による地域活性化の推進	○地域の創生、地域連携の強化、地方分権の推進による地域活性化の推進 ○国際化の推進	○まちづくり、地方分権、地域の創生等をテーマとした講演会の開催 <新規> 【再掲】 (社会基盤委員会 まちづくり部会、地方分権特別委員会) ○各地域の行政、商工会議所等との情報・意見交換、連携活動の強化 ・知事等との懇談会の開催 ・参与会議の開催 ・県担当活動の充実 ○産学官の連携強化に資する会議の開催 ・「中央日本交流・連携サミット」（9月予定）、「中部産業振興協議会」（10月予定） 「中部の未来を考える会」（2月～3月予定） ○外国公館との交流 (国際交流懇談会) ○中部圏の国際化推進に関する調査・研究 ・外国人にとっての地域の魅力向上等に関する調査・研究 ○海外経済視察団の派遣

項目	目標	活動内容
4. 「ひとづくり」の推進		
	○産業・地域を支える人材の育成、多様な人材の活躍推進	<p>○人材の育成に資する産学の連携強化に関する調査・研究 <新規> ・先行事例の調査、具体策の検討 (人材育成委員会)</p> <p>○「企業・人材プール」の構築 ・会員企業から会員大学への講師派遣等を行う「企業・人材プール」の試行継続 ・平成29年度からの本格運用に向けた検討、準備 (人材育成委員会)</p> <p>○「産学人材交流サロン」(仮称)(会員企業と大学の実務層の人材育成に関する情報共有の場)の開催 <新規></p> <p>○「Next30 産学フォーラム」の開催 ・内容の充実、各地開催の試行 (産学連携懇談会)</p> <p>○女性、シニア、海外人材等の活躍推進、生産性向上等による働き方改革に資する講演会の開催</p>
5. 「伊勢志摩サミット」の支援・地域PR		
	○「伊勢志摩サミット」の支援・地域PR	○「伊勢志摩サミット東海会議」(代表事務局：中経連)の推進 ・おもてなし(セントレア、名古屋駅)事業、地域情報PR(ものづくり、観光等)事業の推進
6. 会員との連携強化		
	○会員との連携強化	<p>○会員増強に向けた活動</p> <p>○情報発信の強化(景況アンケート、「中部圏に関する基礎的データ集」、機関誌「中経連」、ホームページ、メールマガジン等)</p> <p>○会員懇談会の開催(各県2回/年)</p> <p>○会員大学・学校法人との懇談会の開催</p> <p>○参与会議の開催【再掲】</p> <p>○他の経済団体との交流 ・「中部経済4団体主催日銀講演会」(5月)、「西日本経済協議会」(10月総会)、 「経済4団体新春賀詞交歓会」(1月)、「中部経済4団体主催新春経済講演会」(1月)、 「東海地方経済懇談会」(2月)</p>